

後期基本計画 令和 2年度 政策方針評価書

政 策：01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

担当部長職・氏名	市民環境部長 齋藤 誠司
----------	--------------

1. 政策の令和 2年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	地域に対する市民の意識が多様化する中であって、市民一人一人が地域や行政とつながりを持ち、自身や地域のことを考え、行動することにより、幸福を実感し安全安心に暮らしている状態です。
--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 地域活動に参加している人の割合 単位 %	50.7	53	55	58	60	60	D
			53.9	45.3	-	-	-	△58.1
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	64	68	71	75	75	C
			65.4	62.6	-	-	-	16.8
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 01010000 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現 地域のお祭りや行事に参加した回数 単位 回	1.61	2.5	3	3.5	4	4	D
			1.7	1	-	-	-	△25.5
2	幸福 01010000 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	69.2	77	78	79	80	80	D
			69.1	68.1	-	-	-	△10.2
3	暮らし 01020000 安全で安心できるまちづくり 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %以上	49.2	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	B
			55.3	51.3	-	-	-	72.4
4	幸福 01020000 安全で安心できるまちづくり 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	64.1	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	A
			67.1	66.6	-	-	-	147.1
5	暮らし 01030000 環境に配慮するまちづくり 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合 単位 %	77.9	77.9	79.6	81.3	83	83	C
			79.9	79.3	-	-	-	27.5
6	幸福 01030000 環境に配慮するまちづくり 地域清掃活動への参加者数 単位 人	18,526	19,895	21,263	22,632	24,000	24,000	D
			20,113	10,992	-	-	-	△137.6

後期基本計画 令和 2年度 政策方針評価書

政 策：01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

担当部長職・氏名	市民環境部長 齋藤 誠司
----------	--------------

2. 政策の実現に向けての令和 2年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

C	一部達成した
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の本市での発症を受け、昨年度につづき事務事業の一部又は全部を中止・延期せざるを得ない状況です。感染予防に重点を置き、事務事業を次のとおり実施しました。 市民主体のまちづくり活動に、必要な情報を提供しました。 規模を縮小しつつ、滝沢版キッズニアなどを開催し賑わいの創出を図りました。 環境基本計画を適正に推進しました。 住民情報を適正に管理するとともに、マイナンバーカードの適正な交付を図りました。 ごみ処理等広域化推進協議会が、処理施設の候補地区について合意しました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題の達成（実現）状況

C	一部達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域別計画の推進 ビッググループ等を活用した地域活性化 自主防災組織の支援 市民主体のリサイクル活動による廃棄物減量 住民情報の適正な取り扱い <p>【重点課題の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境変化や地域の事情に応じた年度活動を実施した。 	

3. 政策の実現に向けて令和 2年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

B	取組みの一部見直しが必要
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大、変異とともに、日本でもワクチン接種が開始されます。 国が、カーボンニュートラルの取り組みとともに、プラスチックごみの全量リサイクルの方針を公表しました。 気象庁が災害に重点をおいたホームページを公開し、また避難警戒レベルの表現を変更します。 RMCが、廃棄物焼却を集中的処理に変更したため、ほとんどの期間は焼却炉は稼働しません。 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な行事や研修会等が、昨年に引き続き自粛傾向にあります。 県内市内での患者や検査陽性が現に発生しており、発生防止、拡大防止を念頭においた消防力、地域防災力の維持、災害避難所設置が必要です。 ビッググループ滝沢の第1期指定期間が満了となります。 	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 4年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり活動への適切な支援が必要です。 地域防災力の維持向上が必要です。 カーボンニュートラルやごみ処理広域化により、ごみ減量の必要性の再認識、再周知が必要です。 市役所職員の育成が必要です。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ処理広域化の課題の具体化の協議が始まります。 自主防災組織の強化、連携が必要です。 ビッググループ滝沢の第2期の指定管理に向け、指定管理者との連携が必要です。 地域に応じた多様な地域づくりへの支援が必要です。 	

